

2024年3月14日
企業会計基準委員会
サステナビリティ基準委員会
エフラグ

企業会計基準委員会及びサステナビリティ基準委員会の代表者と エフラグの代表者がブリュッセルで会合を開催

企業会計基準委員会（ASBJ）及びサステナビリティ基準委員会（SSBJ）の代表者と、エフラグ—企業報告における欧州の声（EFRAG）の代表者は、2024年3月13日及び14日にベルギーのブリュッセルで会合を開催しました。

サステナビリティ報告に関して、会合の参加者は、それぞれの活動の最新情報を提供するとともに、IFRS サステナビリティ開示基準（ISSB 基準）との整合性や相互運用可能性などの相互に関心がある項目についても意見交換を行いました。

財務報告に関して、会合の参加者は、それぞれの活動の最新情報を提供するとともに、財務諸表における気候関連及びその他の不確実性、電力購入契約、並びに IFRS 第9号、IFRS 第15号及び IFRS 第16号の適用後レビューなどの相互に関心がある国際会計基準審議会（IASB）の IFRS 会計プロジェクトについて意見交換を行いました。

ASBJ 及び SSBJ と EFRAG は、定期的な意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 ASBJ 委員長兼 SSBJ 委員長は次のように述べています。
「ブリュッセルでの今回の会合を主催いただいた EFRAG に感謝の意を述べたいと思います。今回の会合は、会計基準とサステナビリティ開示基準の両方に関するそれぞれの活動についての理解を深めるうえで非常に有意義なものでした。EFRAG とのこの実りある対話を継続していくことを期待しています。」

パトリック・ド・カンブール EFRAG サステナビリティ報告審議会（SRB）議長は次のように述べています。

「SSBJ との議論は、サステナビリティ報告に関して ISSB 基準との相互運用可能性の重要性が強調されるなど、洞察に満ちた建設的なものでした。こうした連携は、グローバルな報告基準を向上させるための重要な一歩であると考えています。」

ウルフ・クリンツ EFRAG 財務報告審議会 (FRB) 議長は次のように述べています。

「ASBJ との最新情報及び IFRS 会計プロジェクトに対する意見の交換は、非常に有意義なものでした。気候関連の不確実性への対処や財務報告基準の向上は、グローバルな金融情勢における透明性と説明責任を確保するために極めて重要なものです。」

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

企業会計基準委員会 (ASBJ) は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構 (FASF) の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb-j.jp/jp/>) をご参照ください。

サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) について

サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) は、2022年7月に FASF の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは金融庁が決定することとなっており、SSBJ はその枠組みが設定された後に、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなります。SSBJ は、国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) の法域別ワーキング・グループ (JWG) のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザリー・フォーラム (SSAF) の初期メンバーの1つに選任されています。SSBJ に関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.ssb-j.jp/jp/>) をご参照ください。

エフラグ (EFRAG) について (<https://www.efrag.org/>)

EFRAG の使命は、企業報告の分野における欧州の見解の開発及び促進を通じて、財務報告及びサステナビリティ報告の双方において欧州の公共の利益に奉仕することです。EFRAG は、企業報告の進展を基盤とするとともに、その進展に貢献しています。サステナビリティ報告の活動において、EFRAG は、強固なデュー・プロセスの下で作成された欧州サステナビリティ報告基準 (ESRS) 案の形で欧州委員会に技術的な助言を提供し、ESRS の効果的な導入を支援しています。EFRAG は、基準設定プロセスを通じて、すべての利害関係者から意見を求め、欧州固有の状況についての証拠を入手しています。その正当性は、卓越性、透明性、ガバナンス、デュー・プロセス、公的説明責任及びソート・リーダーシップを基礎としています。これにより、EFRAG は、説得力のある明確で一貫



した意見を述べることができ、企業報告における欧州の声として、また企業報告におけるグローバルな進展への貢献者として認識されることが可能となります。